

# マクニカ・富士エレ ホールディングス株式会社 平成30年3月期 決算説明会資料（プレゼン編）

2018年5月1日

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。  
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 第一部

**I 2018年3月期実績（連結）**

**II 2019年3月期予想（連結）**

**III 株主還元**

## 第二部

**I 中期経営計画（2016～2018年度）**

## 第一部

### I 2018年3月期実績（連結）

### II 2019年3月期予想（連結）

### III 株主還元

## 第二部

### I 中期経営計画（2016～2018年度）

3

#### I 2018年3月期実績

### 連結業績ハイライト（前年比）

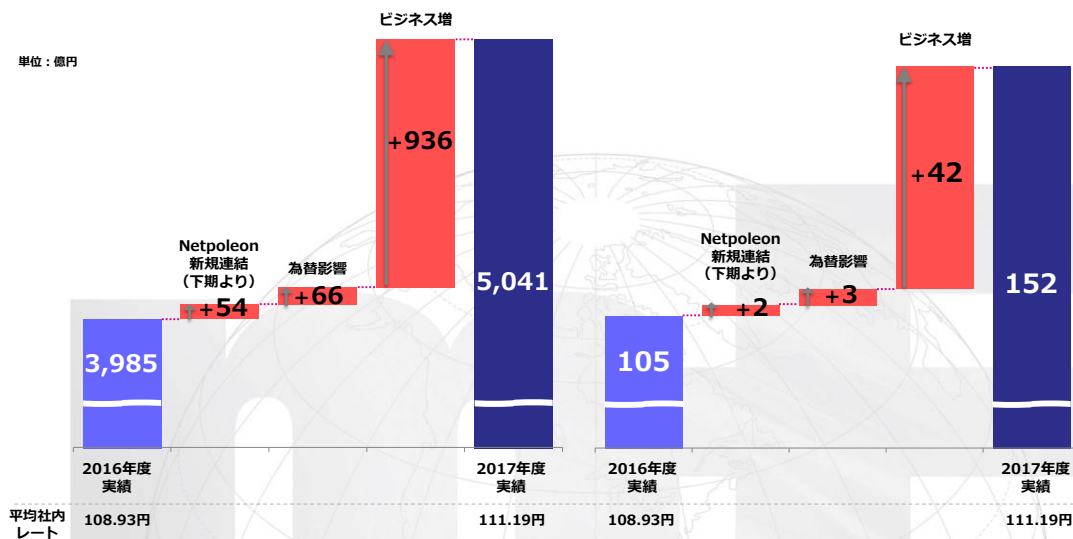
（単位：億円）	2016年度 実績	2017年度 実績	差異	前年比	増減要因
売上高	3,985	5,041	1,056	26.5%	コンピュータ市場向けメモリの拡大や 車載・産機市場向けなど総じて好調
売上総利益	463	561	98	21.2%	売上の増加と為替レート安定により増加
営業利益	105	152	47	44.8%	売上及び売上総利益の拡大に伴い増加
経常利益	96	149	53	55.0%	
親会社株主に帰属 する当期純利益	65	114	49	74.7%	繰延税金資産の計上に伴い、税負担率が 減少

4

## 増減要因（前年比）

### ■ 売上高

### ■ 営業利益



## 連結業績ハイライト（予想比）

(単位：億円)	2017年度 予想 (3/2発表)	2017年度 実績	差異	予想比
売上高	4,974	5,041	67	1.3%
売上総利益	549	561	12	2.2%
営業利益	144	152	8	5.3%
経常利益	143	149	6	4.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	99	114	15	15.2%

## 連結貸借対照表

(単位：億円)	2017年 3月末	2018年 3月末	主な要因
流動資産	2,005	2,514	現金及び預金が132億円、売上債権が159億円、商品が216億円増加
固定資産	146	157	のれんが6億円、その他の無形固定資産が6億円増加
資産合計	2,152	2,671	
流動負債	995	1,252	仕入債務が25億円減少したものの、短期借入金が281億円、賞与引当金が14億円増加
固定負債	109	137	長期借入金が26億円増加
負債合計	1,104	1,389	
純資産合計	1,048	1,282	利益剰余金が95億円増加、新株の発行及び自己株式の処分による資本金、資本剰余金の増加及び自己株式の減少
負債純資産合計	2,152	2,671	

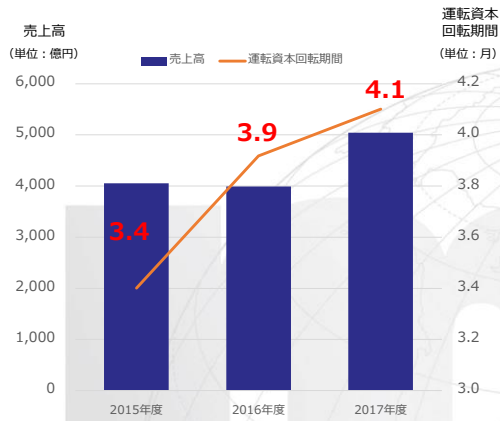
## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)	2016 年度	2017 年度	主な要因
営業活動による キャッシュ・フロー	32	▲286	税金等調整前当期純利益150億円の増加があったものの、売上債権の増加、たな卸資産の増加及び仕入債務の減少があったことにより
投資活動による キャッシュ・フロー	▲11	▲18	有形・無形固定資産の取得に伴う支出及び連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出があったことによるもの
財務活動による キャッシュ・フロー	▲83	437	自己株式の取得による支出及び配当金の支払いがあったものの、短期借入金の純増、新株の発行及び自己株式の処分による収入があったことによるもの
現金及び現金同等物 の期末残高	155	288	前連結会計年度末の155億円に比べ133億円増加

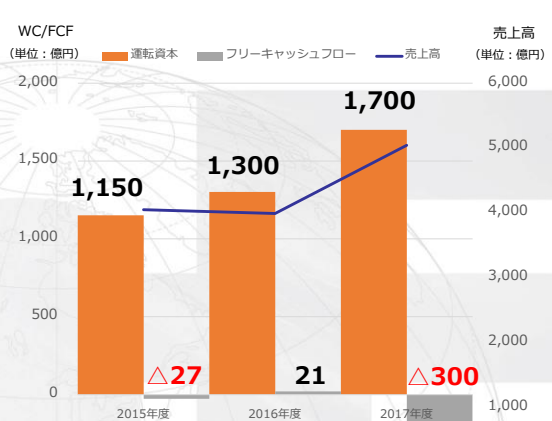
## 増資について

### ● 運転資金を必要とするビジネス構造

#### 運転資本回転期間の長期化



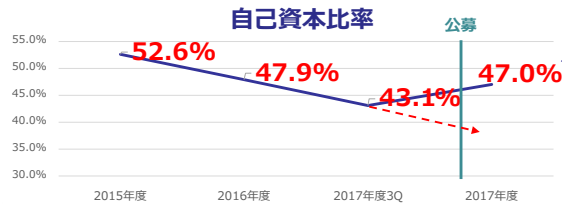
#### 売上増加とともに運転資本は拡大、一方フリーキャッシュフローはマイナス



## 増資について

### ● 財務体質の強化と株式流動性の改善

調達金額	156億	増加株式数	1,909,100株
		発行済株式総数	62,812,957株 (2018年3月31日現在)



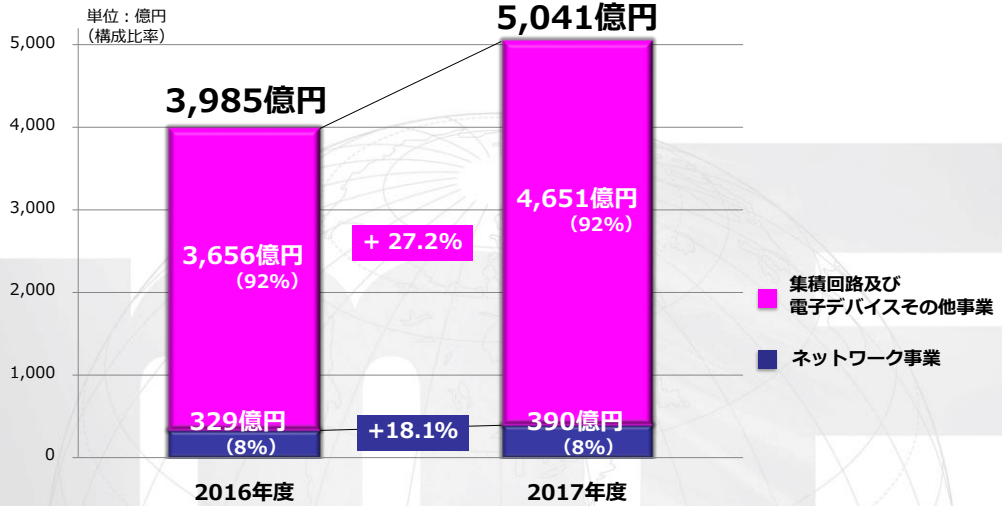
公募増資後、170億円の自己資本増加 (3Q末比)



※受渡日の3/20以降の約一か月間で前年同期間と比較

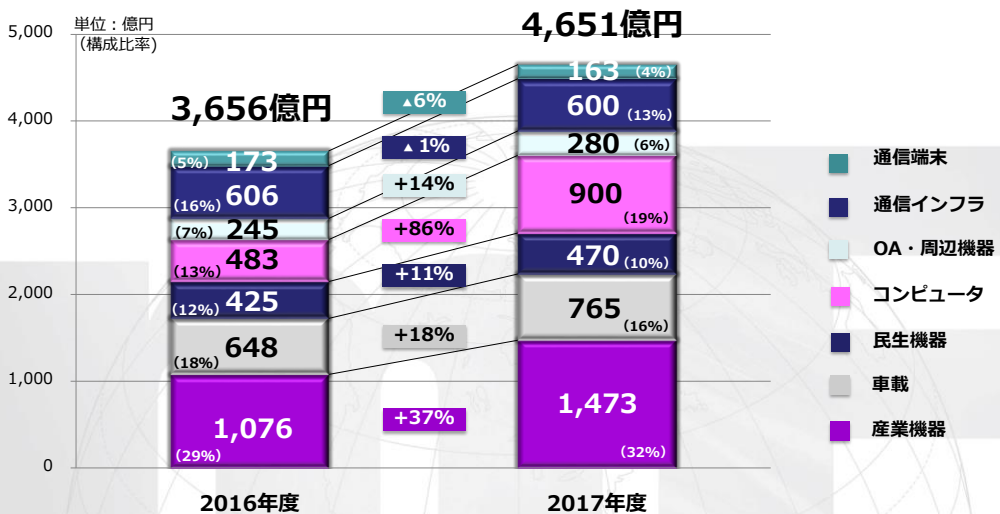
## セグメント別：連結売上高

**5,041億円** 前年比+26.5%



## 集積回路及び電子デバイスその他事業（用途別）

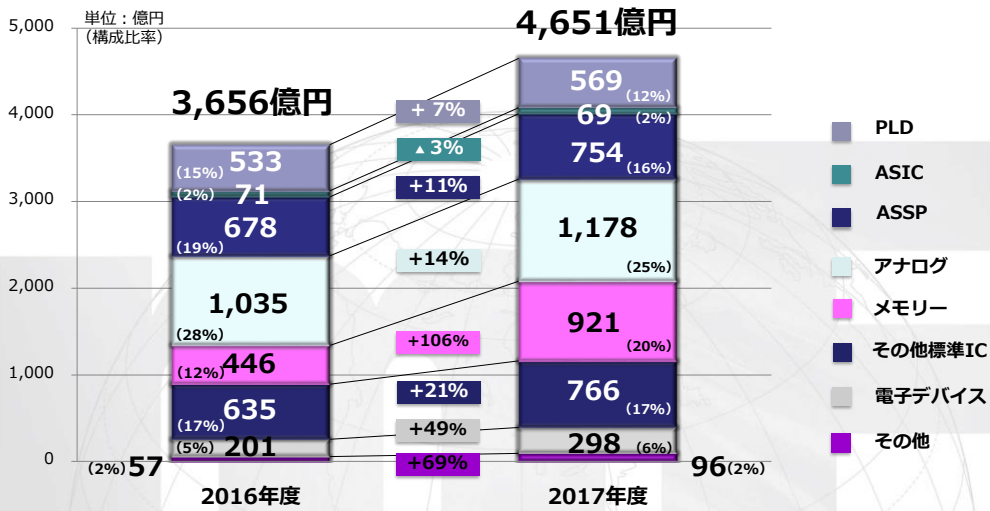
**4,651億円** 前年比+27.2%



I 2018年3月期実績

## 集積回路及び電子デバイスその他事業（品目別）

4,651億円 前年比+27.2%



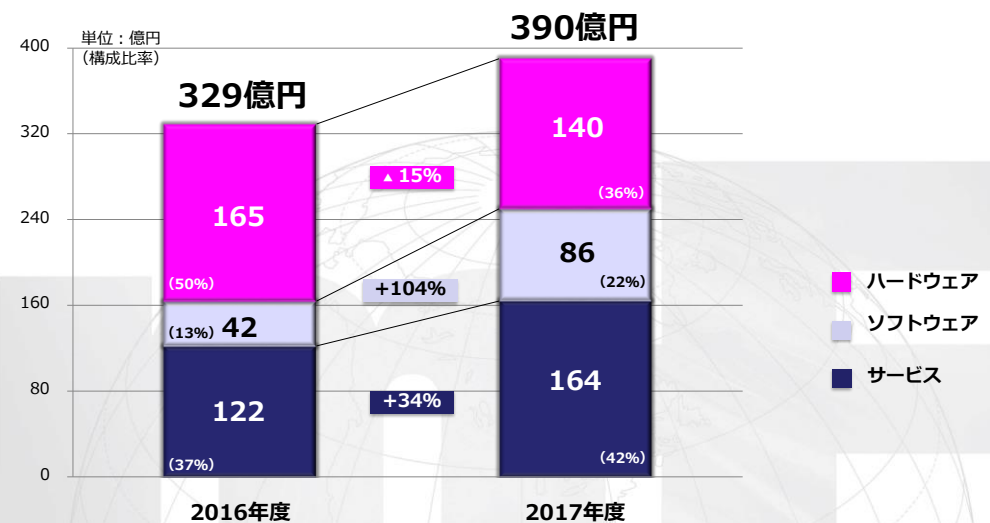
mf Macnica Fuji Electronics

13

I 2018年3月期実績

## ネットワーク事業（品目別）

390億円 前年比+18.1%



mf Macnica Fuji Electronics

14

## 第一部

### I 2018年3月期実績（連結）

### II 2019年3月期予想（連結）

### III 株主還元

## 第二部

### I 中期経営計画（2016～2018年度）

## II 2019年3月期予想

### 連結予想ハイライト

(単位：億円)	2017年度 実績	2018年度			前年比
		上期予想	下期予想	通期予想	
売上高	5,041	2,560	2,740	5,300	5.1%
集積回路及び電子デバイス その他事業	4,651	2,318	2,471	4,789	3.0%
ネットワーク事業	390	242	269	511	30.8%
売上総利益	561	287	309	596	6.2%
営業利益	152	72	88	160	5.5%
経常利益	149	71	87	158	5.8%
親会社株主に帰属する当 期純利益	114	50	60	110	▲3.6%

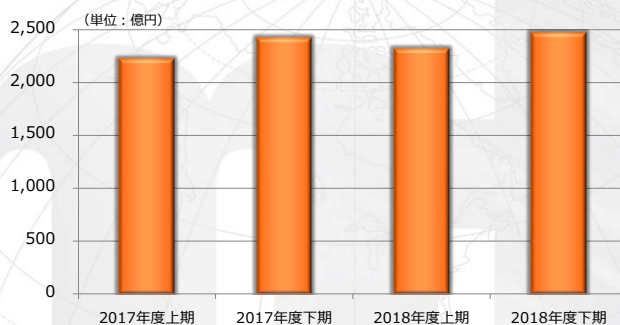


## 集積回路及び電子デバイスその他事業



### 車載や産業機器市場向けなど引き続き成長

- コンピュータは、サーバー、ストレージシステム向けのメモリビジネスが一部収束する見込み。
- 車載は、先進運転支援システム向け等が引き続き伸長する見通し。
- 産業機器は、工作機械や半導体製造装置向け等が継続して好調に推移する見込み。

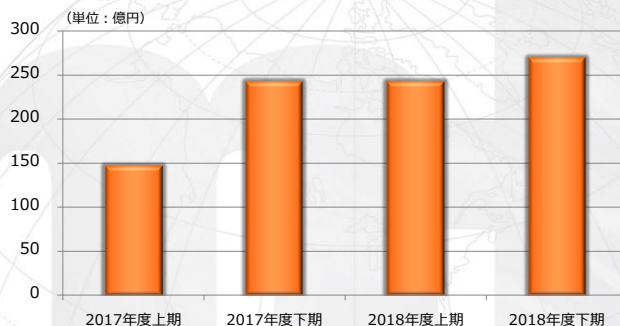


## ネットワーク事業



### IT投資は引き続き堅調

- セキュリティ関連商品は、ハードウェアからソフトウェアへのシフトに伴い、ソフトウェアが引き続き牽引する見込み。
- IoT機器・システムの利用拡大を背景に、ビッグデータ分析関連商品も伸長する見通し。



## 第一部

### I 2018年3月期実績（連結）

### II 2019年3月期予想（連結）

### III 株主還元

## 第二部

### I 中期経営計画（2016～2018年度）

### III 株主還元

## 配当について

### ● 配当方針

将来の事業展開と経営体質の一層の充実・強化のために必要な内部留保を確保するとともに、株主の皆様に対し極力利益を還元すること、諸般の情勢を勘案しつつも安定した配当の継続に努めることといたします。毎事業年度における配当の回数についての基本的な方針は、中間配当並びに期末配当の年2回を原則とします。

### ● 配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	17.50	17.50	35.00
2018年3月期	17.50	32.50	50.00
2019年3月期（予想）	25.00	25.00	50.00

## 第一部

I 2018年3月期実績（連結）

II 2019年3月期予想（連結）

III 株主還元

## 第二部

I 中期経営計画（2016～2018年度）

### I 中期経営計画（2016年～2018年度）

## 中期経営計画

### 成長の追求による優位ポジションの確立

#### 1 成長戦略

- ① 統合効果によるシェア拡大
- ② グローバル戦略の強化
- ③ ネットワーク事業の強化
- ④ 成長加速の施策

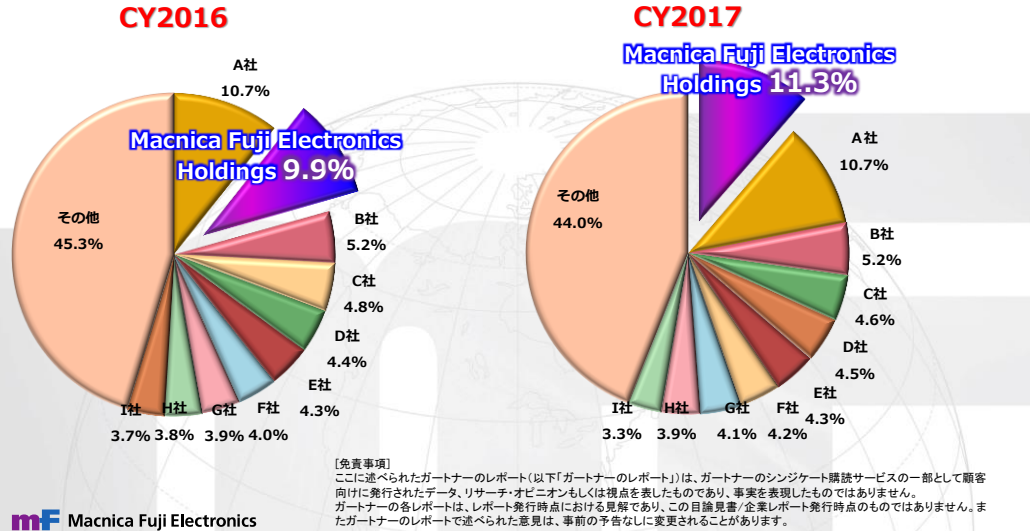
#### 2 中期経営目標

# 1 成長戦略：①統合効果によるシェア拡大

## ■ 国内 (半導体事業) シェア獲得とさらなる拡大

### 半導体商社の半導体売上シェア (日本市場)

Source: Gartner, "Market Share: Semiconductor Distributors, Worldwide, 2017" 22 March 2018, Chart created by Macnica based on Gartner data.

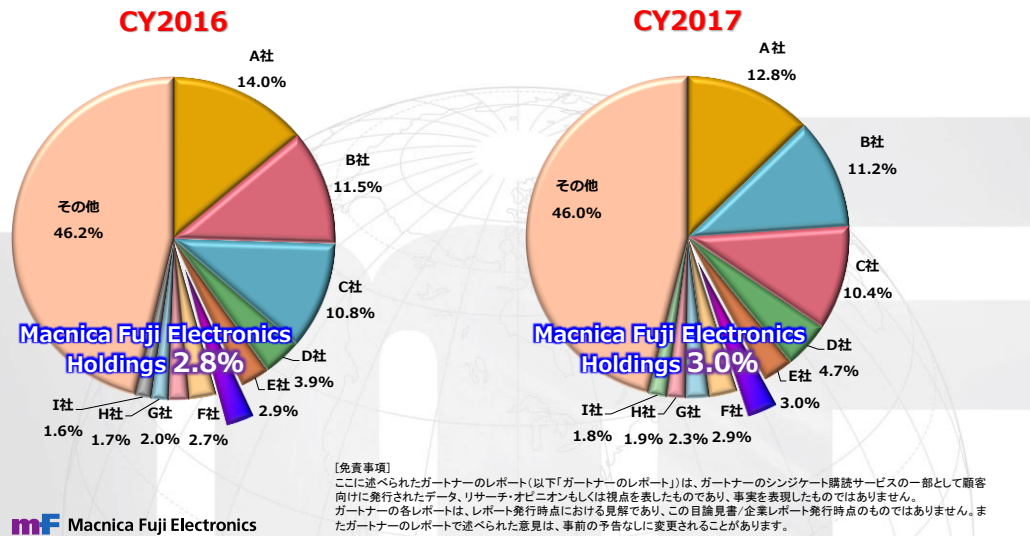


# 1 成長戦略：①統合効果によるシェア拡大

## ■ グローバル (半導体事業)

### 半導体商社の半導体売上シェア (世界市場)

Source: Gartner, "Market Share: Semiconductor Distributors, Worldwide, 2017" 22 March 2018, Chart created by Macnica based on Gartner data.

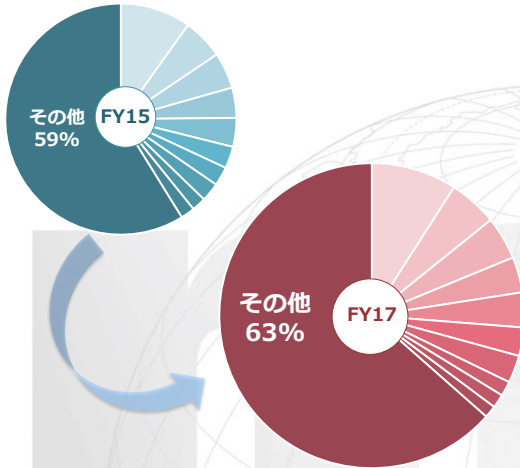


# 1 成長戦略：①統合効果によるシェア拡大

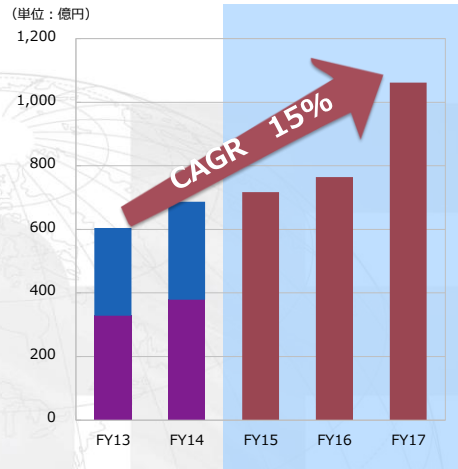
## ■ 総合力による中堅・中小規模顧客への浸透



Top 10 Customers FY2015 vs FY2017



Growth in Industrial Segment (Domestic)



# 1 成長戦略：②グローバル戦略の強化 <半導体事業>

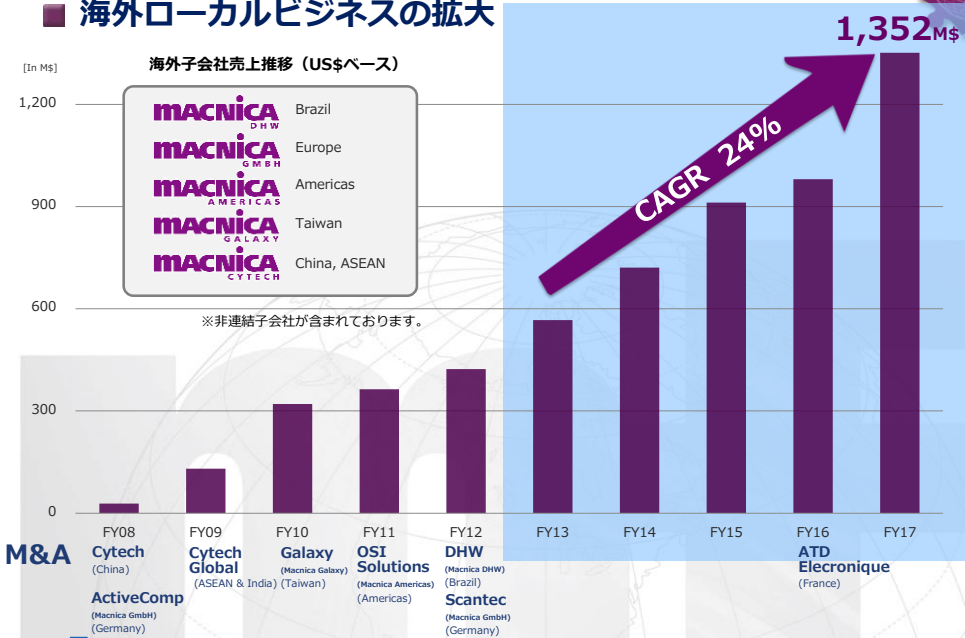
## ■ 海外ローカルビジネスの拡大



海外子会社売上推移 (US\$ベース)



※非連結子会社が含まれております。



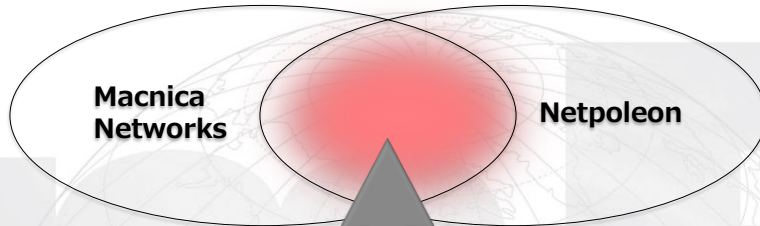
M&A

# 1 成長戦略：②グローバル戦略の強化 <ネットワーク事業>

## ■ アジアローカルビジネスの拡大

**netpoleon**  
Network + Security

2017年8月1日  
Netpoleon Solutions Pte Ltd.の  
株式56.5%を取得し子会社化



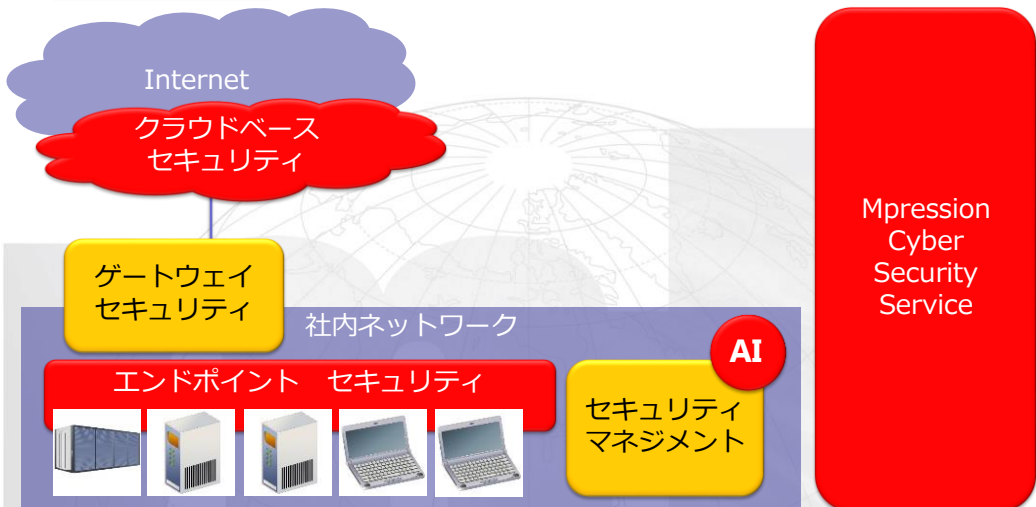
Symantec、FireEye、Splunk  
Macnica Networks独自技術サービス

# 1 成長戦略：③ネットワーク事業の強化

## ■ ネットワーク事業のさらなる成長

次の柱で  
更なる成長

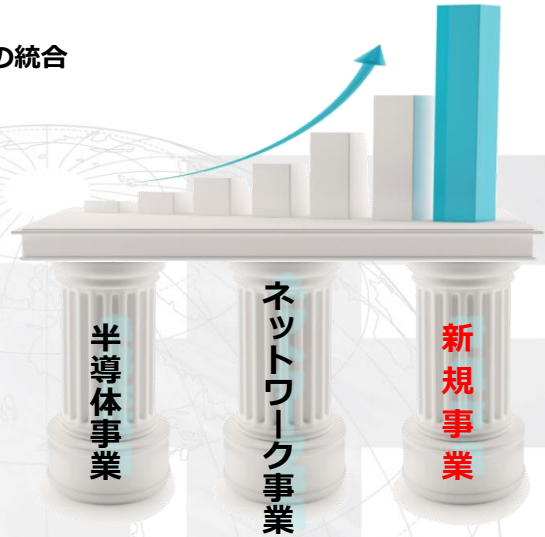
プロダクトポートフォリオの拡大



# 1 成長戦略：④成長加速の施策

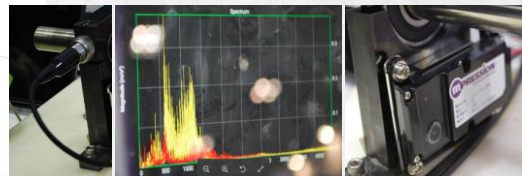
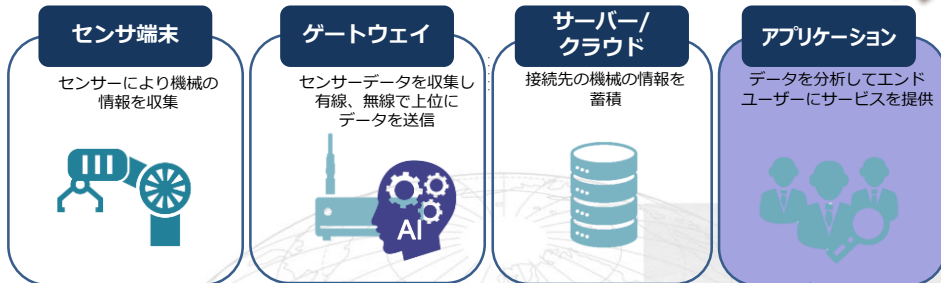
## ■ 新規事業への布石

- 新規事業の取り組み事例
  - 予知保全ソリューションとAIの統合
  - 自動運転ソリューション



# 1 成長戦略：④成長加速の施策

## ■ 予知保全ソリューションとAIの統合



## 1 成長戦略：④成長加速の施策

### ■ 自動運転ソリューション

#### プラットフォーム

自動運転実証車

#### 頭脳

GPU,  
Many Core

#### コンサルティング

データ取得・分析  
アノテーション  
ニューラルネットワーク作成・  
最適化



#### センサー

LiDar  
カメラ (単眼・ステレオ)

#### ソフトウェア

OS  
ミドルウェア  
自動運転向けアルゴリズム  
ADAS

#### 組込サービス・ 認証代行サービス

ポーティング作業  
受託開発  
各種認証代行

## 1 成長戦略：④成長加速の施策

### ■ 自動運転ソリューション：自動運転実証車



#### 特徴

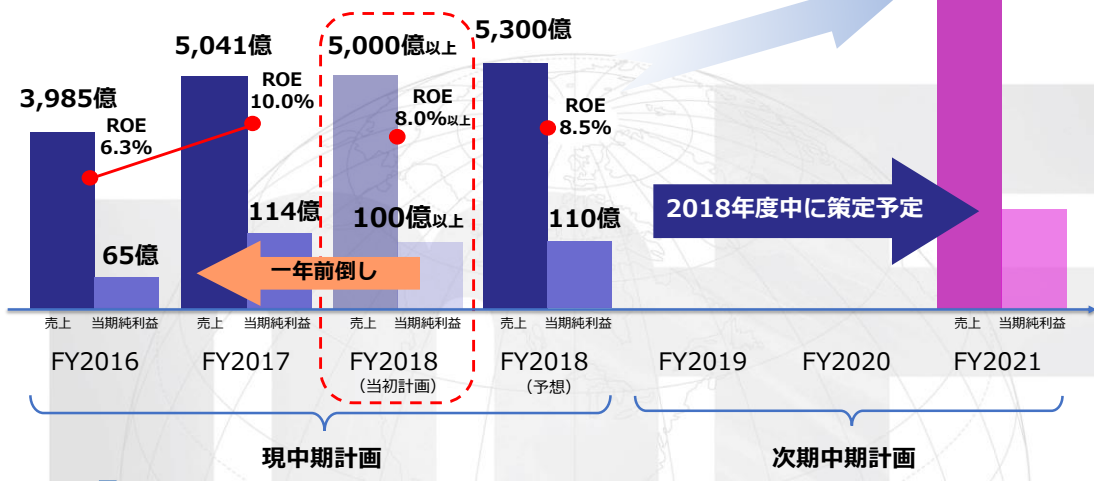
- ✓ 豊富なラインナップで最適な実証車プラットフォームの提供
- ✓ 自動運転に必要な全てのプロダクトに対応可能
- ✓ WW実績多数。お客様のご要望に対し、柔軟に対応可能
- ✓ 自動運転に必要なソフトウェアを提供可能



## 2 数値目標

### ■ 次期中期経営計画に向けて

車載、産業機器など既存成長分野に加えAI/IoTなどの新規分野拡大



## 社外取締役候補者の選任に関するお知らせ

平成30年5月1日開催の取締役会において、社外取締役候補者の選任を内定いたしましたのでお知らせいたします。本件につきましては、平成30年6月26日開催予定の第3回定時株主総会の承認をもって正式に決定される予定です。

### ➤ 選任の理由

経営体制及びガバナンス機能の一層の強化を図ることを目的として、独立性の高い取締役を選任することといたしました。

氏名 (生年月日)	略歴
木下 仁 (昭和30年2月19日生)	昭和53年4月 ㈱三菱総合研究所入社 昭和60年3月 ㈱アステック(現㈱アルワークス)設立 代表取締役社長就任 平成27年10月 ㈱アルワークス 取締役相談役就任(現任) 平成27年10月 ㈱システムコンサルタント 取締役社長就任 平成28年9月 ㈱システムコンサルタント 代表取締役社長就任(現任)

※なお、同氏は、東京証券取引所の定める独立役員の要件を満たしており、独立役員として同取引所に届け出る予定です。